

第2次農業振興計画【中間見直し】

事業一覧

資料3

施策 (大分類)	主要事業 (中分類)	No.	個別事業(小分類)	事業内容	H30(2018)年度の取組	2019年度の取組
(1)食と暮らしを支える多様な農業	1 直売所のさらなる活用	1	(統合)直売所の利用の促進	市HPの活用等による情報発信強化	①市HP直売所一覧の情報の充実、おでかけ図鑑での直売所の紹介。 ②直売所で使用するのぼり旗を作成、配布する。 ③ファームカーによる直売支援。	①のぼり旗の配布 ②いこいの森公園、JA直売所、りさいくる市での直売支援実施
		2	(新)公共施設等での販売機会の提供	公共施設での販売機会の提供→市民の利便性や地産地消	—	こもれびホールや市施設、駅前で販売機会を提供
	2 地産地消の推進	3	めぐみちゃんメニューの推進	地産地消の推進、販路の拡大を目指す。	①メニューコンテストイベント開催、市民まつりで広報。 ②市の事業と連携したマルシェ開催。 ③参加事業者の増加。 ④ツイッターによる広報。	①新しいイベントの実施 ②市の取り組みと連携したマルシェを開催
		4	学校給食との連携	栄養士との意見交換会を開催する。	①学校栄養士と農業者の連絡会への支援。 ②市内共通メニューの実施	①学校栄養士と農業者の連絡会 ②市内共通メニューの実施 ③JAとの協議
	3 販路の拡大と西東京ブランドの育成	5	めぐみちゃんブランドの普及啓発	メニュー事業や補助金を活用し普及啓発を行う。	①めぐみちゃんメニュー事業による普及を図る。 ②「市産農産物等活用推進補助金」の農工商業者への周知。農業者には、直売所看板等への使用実績を広報し、様々な活用を促した。 ③直売所にめぐみちゃんもののぼり旗を配布。	①めぐみちゃんメニュー事業を通してブランド化 ②「市産農産物活用補助金」の活用の広報・周知 ③のぼり旗を配布継続。
		6	地域や商店街との連携	地域や商店街でのイベント等の活用	①いこいの森公園やリサイクル市での農業者の直売活動を支援(ファームカー等)。 ②多摩六都などイベントにおける直売への支援(ファームカー)。 ③畑の防災訓練で地域の自治会と連携。 ④景観散策会に地元商店街から講師派遣などの連携 ⑤高齢者センターきららと連携した「テーブルファーム」の実施	
(2)多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業経営	1 若い担い手や女性農業者の育成	7	地元と連携した後継者育成	F&Uの実施、認定農業者を講師とした研修の実施	①東京都フレッシュ&Uターセミナーや指導農業者制度を活用した後継者育成の支援。 ②認定農業者の経営改善計画において、後継者も含めた農業経営の計画策定を推進。 ③「農業後継者顕彰」事業。	①東京都事業との連携、活用
		8	(統合)農業者の交流機会の創出	若い担い手や女性農業者への情報提供の強化、支援策の検討	①F&U事業実施 ②情報交換 ③委員会活動 ④経営改善計画への助言	①青壮年部等と意見交換や要望の聞き取り ②女性農業者の活動実態、要望把握 ③女性や若い担い手への情報提供、活動支援
	2 援農ボランティアの活用	9	農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供	「青空塾」修了者と農業者のマッチングを行う。	①体験実習農園にて援農ボランティア活動実施。 ②都「広域援農ボランティア」の周知・広報。 ③都農作業サポーター支援事業との連携(事業協力等)	①マッチングの仕組みづくり検討 ②市報や市民農園利用者への援農ボランティア広報
		10	援農ボランティアのスキルアップ	「青空塾」修了者のスキルアップを図る。	①スキルアップ講習会を、市内農業者の協力を得て、農のア카데미にて実施。 ②スキルアップを目的に講演会や運営連絡会を実施。	①市内農業者の園場にてスキルアップ講座を実施
	3 効果的な支援による農業経営意欲の促進	11	(新)認定農業者農業経営改善計画への支援	経営改善計画のフォローアップを行う。	—	①認定農業者の要望や関係団体との調整により、目標達成に向け、支援を行う。
		12	新たな支援策の調査・研究	調査・研究	①補助内容についてJAと意見交換 ②新たな補助制度(「都市農地保全プロジェクト」)要綱を作成 ③計画見直しにおいて、直売への支援策や公共施設での直売検討 ④台風被害への対応	①JAや農業者との意見交換、要望の反映 ②プロジェクト補助金事業手続きを開始
(3)農地の保全と活用	1 生産緑地の保全	13	営農支援事業の適正運営	適正な運営を実施します。	「営農支援事業」をJAが実施している。	引き続き実施
		14	農地の適正な肥培管理	農業委員会による管理	①農業委員会と市が協力して、農地パトロールを実施する。 ②農業者への年間を通じたご指導。	①農業委員による指導 ②農地パトロールの実施 ③生産緑地制度の理解促進を通じた意識の向上
	2 多面的機能の発揮	15	(新)生産緑地地区制度への対応	特定生産緑地や生産緑地の再指定等の推進	①農業者の意見を集約し、「意見」を市に提出する。 ②生産緑地の再指定について、基準改正。 ③都市計画審議会に農業委員会会長が参加。	①特定生産緑地の周知、関係団体、関係部署との連携
		16	(新)農地の貸借における仲介の仕組みづくりの支援	貸借円滑化法に基づく貸借への対応を行う	①制度について情報提供 ②関係機関との調整	①情報の整理、JAや農業会議等関係機関との連携体制の構築、意見交換 ②農業者の要望、情報の集約
	2 多面的機能の発揮	17	(統合)農業体験・交流型施設の活用	花摘みの丘、蔵の里などの施設を活用した取り組みの推進	①農業学習やイベントを実施	①農業学習、イベントの開催 ②体験実習農園設置の検討
		18	災害協力農地の拡大	災害協力農地の拡大	①JAと市(危機管理室)が協定を締結している。 ②災害用井戸について情報提供。	①農業者への情報提供、JAとの連携

施策 (大分類)	主要事業 (中分類)	No.	個別事業(小分類)	事業内容	H30(2018)年度の取組	2019年度の取組
(4) 農業を通じた交流	1 各種イベントの実施	19	(統合) 農業景観散策会の実施	農業、農地のある景観を活かした事業の展開	①「花摘みの丘」での景観散策会を実施、花の農地や、農地のある風景を体験	①引き続き、景観散策会を実施する
		20	市内産農産物活用事業の実施	市内産農産物を活用したイベント実施	①農のアカデミーにおける収穫祭の開催。 ②市内農産物を使用した料理教室(消費者センター)開催支援	①農のアカデミーにて収穫祭を実施 ②農産物を使用した事業への支援
		21	親子で野菜作りにチャレンジの実施	親子参加型イベントの実施	農のアカデミーにおいて、親子での播種、収穫の体験を通じた都市農業のPRを行う。	①農業者の園場において、親子を対象に農業体験を行い、農業への理解を促進する。
		22	農業普及啓発プロジェクトの活用	ファームカー、イメージビデオ、イメージソング等の活用	①イベントや市民まつり等を利用した都市農業PRを実施。 ②ファームカーを活用し、直売の支援、イベントや市内巡回による市内農業の広報活動を行う。	①ファームカーを活用し、直売やイベントで、映像やイメージソングを使用した都市農業のPRを実施する
		23	めぐみちゃんメニューの推進	= 3	③めぐみちゃんメニュー事業の映像を活用した	
		24	緑のアカデミー事業の実施	緑のアカデミーを通じた植木農業振興	①中原小(体育館)にて緑のアカデミーイベントを実施 ②東京都農業祭にファームカー参加	①緑のアカデミーイベントを実施し、市内産植木の広報、農業者と市民の交流を図る。 ②東京都農業祭植木部門へのファームカー参加
	2 農工商・産学公連携の推進	25	(新) 農業と異分野との連携促進	飲食や福祉・健康・教育と農業の連携推進	①野菜工場の情報提供	①市内連携の推進 ②六次化等の情報提供
		26	東大生態調和農学機構との連携	東大生態調和農学機構と連携を図る	①農学機構を訪問、【中間見直し】に係る意見交換 ②機構内の野菜工場を見学	①引き続き意見交換や情報交流を行っていく
	3 市民農園の新しい展開と農業体験農園の推進	27	市民農園の新しい展開	利用料の見直し、新たな付加価値地の創造	①利用料の協議を実施、値上げを実施 ②農園にポストを設置し、JA冊子やイベント情報など農業関連情報を提供	①農業者が開設した市民農園への広報等の支援検討 ②農業者が市民農園を開設する際の支援検討
		28	農業体験農園の推進	開設経費の補助及び広報支援	①市報やHPでの広報や、市民まつりでの広報 ②開設時の支援制度(補助金)の周知	①開設する際の支援制度の周知 ②市報等による広報